

波動調律講座の意義と考え方

小峰 一宏

整体師・波動調律師

心理カウンセラー・瞑想ファシリテーター

(元職：作業療法士)

協会理事、役員、地域社会における様々な事業にも貢献。介護サービスの法人理事（NPO）、大学院での臨床研究、養成校教員などを歴任。意識の変容とともに靈性に目醒め、真の健康と幸福を実現するためには、高次の意識の目覚めが肝要であることを知り、その方法をお伝えしています。

ありのままのあなた

人間には肉体、エーテル体、アストラル体、メンタル体、コーザル体の5つの身体があります。それぞれの対応する身体と、それが具体的に何を意味するものなのかを見ていくと、より深い人間理解に繋がっていきます。人間の個性をより細かい特性に分け、それらの組み合わせによって、その人の人となり、人間の個性が形づくられていきます。

個人を見ていくと、幾層にも重なるその人ですら自覚していない部分があり、一見矛盾したものが存在している場合があります。ほとんどの人は、自分のことをほとんどわかっておらず、ある部分の個性を全体と勘違いしてしまい、それが要するに個人性、いわゆるエゴ、自分、個人、わたしという人間を生み出し、そして世界と自分を分離させていきます。多くの人は、自己の本質から切り離されて暮らしています。それがこの世界の混乱それから病気の根源、根本の原因となっています。

それをトータルな高次の自我、いわゆる魂がどうやってうまくまとめるか、調和とバランスを取るか、それを会得するのが人生であり、上手に生きていくことが、ホリスティックなのだと思います。最終的にはあなたの本質は宇宙と同一であると。それは本来の

あなたなのだ。そういうことを教えようとしており、最終的には魂を救うというレベルの事をやっているのだということです。真の自己を理解することが、すなわち人生の修行になります。

自分自身を深く理解することは、最終的には悟りのようなところ、自己実現につながります。ありのままのあなたは、完全に豊かな存在、無限の豊かさが内側から溢れてくる。答えは必ず、自分の内側にあります。自分自身の本性である豊かさに気づいていないから、つまらないことに右往左往し、いろいろなことで心身が喪失して、病気になったりしていきます。それを見出した人は、本当に豊かな存在になり、だから豊かな社会を生み出せるのです。それを掴んだ人は、社会に対して本当に貢献できる人間に転換していきます。

今は、意識の変革がめまぐるしく起きている時期だと思います。人間本来の強さと優しさを取戻し、何ものにも縛られず、誰にも支配されることのない、真の意味での自由を得たいという想いが強くなってきていることを自覚されている方も多いのではないのでしょうか。『責任のある自由』を手に入れる為に、まず心の在り方を見つめてみるのが、第一歩だと思っています。

自分に制限をかけることは何一つないと私は思っています。自分は一体、どういう存在なのか。人間とは本来どういう存在なのか。それを知るためには、心の解放が必要です。心声を聞き、ネガティブな感情の手放し、ハートを愛のエネルギーで満たすことで、本来の自分を取り戻すことができます。根源意識とつながることで、宇宙エネルギーを取り込み、自分の未来を創造することができます。

運命は変えられる

占いで悪い事を言われた時は、どのように受け取ればよいのだろうか。それはただ一つの天気予報のようなもので、このまま続けていくと、こういうことが起こりやすくなるという警告。占星学とは本来はそういうもので、意識的に自覚して、回避するように動いたら、全部外れていきます。運命とはそういうものです。

人間は、神様の分霊を頂いています。つまりは星よりも意識が高いから運命を変えることができるのです。意識的に外していける人と、それがやりにくい人がいます。多くの人には、自分を肉体だと思っていて、星の力、運命に勝てないと思っていて、それをそのまま受け入れてしまい、逃れられないのです。

本当は違うのです。人間は神様の分け御霊をもらっていて、本質の部分は神に等しいのですから、そちらを信じている人は、運命を支配でき、星の力を打ち破れることができます。やりにくい人のために、ある種の行法があり、ポイントを抑えることで、運命を変えていくことができます。運命が当たらなくなることが本当なのです。星が示す象徴も読み方を変えていけるようになります。

エネルギーのからだを浄化する

血管や循環器系、神経系、経絡系を東洋医学では「ナディ」と呼びます。これは身体に流れる川のようなエネルギーの通り道の一つの有機体として、全体のいろいろなコントロールをしているところです。人間の肉体も、物理的な次元のエネルギーが細胞のかたちをとり、その働きをする場所、組織によっていろいろな分化をし、全体に有機的な統一体となっていきます。

その全体にエネルギーを回すのをコントロールしています。高次元のエネルギーを取り入れて、体内で利用可能なかたちに変換す

る場所を「チャクラ」と呼びます。「車輪」「渦」「回転」の意味があり、頭から胴体へと縦に配列された車輪のようなエネルギーとして描写されます。チャクラは肉体、エーテル体、アストラル体、メンタル体の4系統に存在しており、その4つの波動は、その人の肉体の状態、気の状態、感情の状態、ものの考え方を示しています。エネルギーはチャクラから体内に流れ込み、各周波数に応じたチャクラに分配されながら、体の必要とされる部位に流れていきます。

人間の想念や恐れや罪悪感、不適切な行動パターンなどは、チャクラに悪影響を及ぼし、開いたりふさがったりします。また外的な要素（ウイルスや環境など）は、外から体に影響を与え、それが心にも影響し、チャクラを乱していきます。そこから生命エネルギーを受け取っている臓器にも影響が及んでいきます。

チャクラを理解すると「病は気から」というように、心と身体が繋がっている仕組みが分かっていきます。慢性的な病気になる人は、必ず対応するチャクラに異常が生じています。きちんとチャクラの放出と吸収の流れを整えることで、健康には著しい効果があり、ハイレベルな健康法となります。同時に、もっと深い部分の心と体の浄化になります。

チャクラと波動と幸福度について

人には、よく使っているチャクラ、日常生活でよく振動させているチャクラがあります。そのチャクラが高いほどその人は幸福で高い波動を放っています。実はこれが心の平安や幸せに密接な関係があります。不幸な人は、下のチャクラしか、ほとんど振動させていません。「私はすごく幸せです」と言い切れる人は、必ずハートのチャクラ、またはより上のチャクラが振動しています。下に行く

ほど悲しい波動だったり、争いの波動だったり、波動は低くなります。上に行くほど振動が高くなり、レベルの高いチャクラとなります。高いチャクラで振動している人ほど幸せなのです。誰が幸せか、誰が幸せでないか、どんなチャクラの振動、要するに波動を出しているかで分かります。さらに波動を高くしていくとさらに幸せになっていきます。上に行くほど幸せになっていくのです。

類は友を呼ぶとも言います。同じ振動のものがひっついてくるのです。「私は不幸だ。何か足りない。何が足りないのだろう。何かあったら幸福になれるのだろう」要するに対象、何か物があって幸せになれるという考え方をしている限りは幸せにはなれません。本当に幸せになれる人は、物の考え方が逆転しています。まず自分の波動を上げて、そうすると同じような波動を出しているものが引き寄せられていきます。そうすると同じような人が引き寄せられてその人も幸せです。

それだけのことで、波動を上げればいいのだと分かります。自分の波動を上げると必ず幸せになります。その人達は心の持ち方がポジティブで、心を正しく持つということはものすごく大事なことです。その後の人生が変わってしまいます。チャクラの感覚をしっかりとっていくと不幸を避けることができます。どういうふうに生きれば、より豊かな人生が生きられるかというのが分かってきます。そういう意味でチャクラが非常に重要です。

波動の医学と西洋医学

なぜ「病氣」というのでしょうか。どうして「氣」の病というのでしょうか。身体に異常が起きた状態は「病体」と呼ぶべきだと考えています。例えば風邪をひいて熱が出る前は「病氣」で、症状が出てしまえば「病体」なのです。現代では「病体」になって、はじめて風邪という「病氣」が診断されます。こ

れから判るように「病氣」は（氣の病）と（体の病）の両方を含んでいることとなります。東洋医学では「病氣」=病氣+病体という概念で捉えています。西洋医学は「氣」を排除し、病氣≡病体で、体の異常を治すことに重点が置かれています。ここに西洋医学の限界が見えてきます。その結果、どんどん細分化され、体はまず解剖から始まり、顕微鏡で観察され、次に電子顕微鏡でさらに細かく観察され、西洋医学の進歩は氣（エネルギー）の研究は全く行なわずに体の研究へ突っ走り、その観察から得られた情報を元に機能の研究がすすんでいきます。

本当は「病氣」を治すには病氣と病体を治さなければならないのです。自然治癒力とは「病氣」を「元気」にすることを言います。自然治癒力は細菌やウイルスが感染したり内蔵に異常がでたりした時に病氣を治して行く体の生命力のことです。この生命力は「氣」のエネルギーのこと。自然治癒力を高めるには免疫細胞の機能を活性化することが証明されていますので、自然治癒力≡免疫力と理解しても良いでしょう。体の回復力を強くすることです。

体内に蓄積されたマイナスエネルギーは、「宇宙の力（エネルギー）」の流れを滞らせ、肉体に入る「氣」の異常が起こり、いわゆる「病氣」が起こります。多くの病氣は、免疫力が低下することによって起こります。そして、その免疫力を低下させる原因は、ストレスのかかる現代社会の偏った生き方にあります。ストレスで自律神経のバランスが崩れ、免疫力が低下して、がんや慢性疾患を発症するという考え方です。また東洋医学では、一人ひとりの体質に合わせた健康法を選ぶべきだと教えています。生活習慣全般を見直して、いかに免疫力を高めるか。また一人ひとりに合った健康法を知る上で、自分を知らることが最も大切だと思います。

波動を下げない生き方

この世界は、皮の部分、果肉の部分、種子の部分に喩えられます。一番外側の皮の部分が、私たちの物質的レベルです。果肉の部分、ここが波動の世界です。一番美味しいところです。種の部分がことば、想念の部分です。何を考えているかということです。この種の部分を埋えると桃の実がなります。

「種」が原因の世界で、この世界を生み出す一番の根源になっています。何を考えているか、どういう思想を持っているかが決定的な意味を持っていきます。その思想、ポジティブな物の考え方をしているかということです。ポジティブな物の考え方をする人は、ポジティブな波動を生み出します。チャクラの振動が高い人は、高い振動をしています。そういう人は必ずポジティブな考え方をしています。

これから日本も世界も、大変な混乱が襲うことになると思います。これは必然的に起こることで、これを良いように捉え、どういうふうこれから生きるかということ、人間ひとり一人に試されているのだとも考えることもできます。そういうときに混乱して右往左往する人は、ネガティブな波動に巻き込まれていきます。どんな状況が起こっても波動を高く持って生きる人は、これからすごく成長していきます。どんな状況が来ても、どんなに苦しくても、高い振動を持って、波動を落とさないで生き切ろうと思う、そういう気持ちでいられるかということです。

地球は今、大きな分岐点を迎えています。3次元地球に生きる人々、5次元地球に生きる人々、2025年以降、私たち一人ひとりの生き方の選択が大切になっていきます。人間本来の生き方に還りながら、何が大切なのかをしっかりと見据えて、そこから外れない生き方をする。最も大切なのは、一人ひとりの心の平安、そして高い波動を保つことで

す。この講座は、自分で自分の波動を調律し、誰かに”してもらう”のではなく、自分で”できる”人になることを目指し、霊的な体へ目醒める方法をお伝えしていきます。

この世界で幸せに生きるためには、正しい生き方や考え方、ライフスタイルを持つことと、目に見えない部分の霊的な科学（波動や邪気など）についての基礎知識と正しい対処法を知ることです。普段の私たちはネガティブなエネルギーや憑依といった、霊的な現象を意識することはほとんどありません。しかし、人生の幸・不幸はこれで決まってしまうといえるほど、とても強く影響しているのです。この世界には、驚くほどたくさんのネガティブなエネルギーが行き交い、それが時には人を攻撃し、弱らせ、心身を病気にしてしまいます。この講座では、心と身体を浄化し、波動を高める方法をお伝えします。講座を受けた後は、毎日自分で数分の鍛錬を行ってもらっただけで、効果は一生続きます。

魂が常に宇宙の中心と繋がっているという実感が得られ、受講前よりずっと心も身体も安定していきます。自分が変わることで、仮に憑依や念を受けても、速やかに自分で対処できるようになります。高次元のエネルギーがいつも身体に流れ込んでくるようになり、その高い波動で身を守れるようになり、生活圏にも悪い影響を持ち越さなくなります。高い波動を保てるので、引き寄せるものも変わります。自分のチャクラをすべて開く方法もお伝えいたします。才能はエネルギーの覚醒と深く結びついているため、才能の開花にも繋がります。

参考

- 1) 映像配信シリーズ；竹下正敏（シャンティフーラ）
- 2) エネルギーボディ講座；serena（think planet）
- 3) 非常識の医学が病を治す；阿保徹、永野剛造、福田稔（実業之日本社）